

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103102
法人名	医療法人春風会
事業所名	グループホーム明和の家
所在地	鹿児島市明和5丁目1-15 (電話) 099-218-9121
自己評価作成日	平成29年2月13日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ADL低下が進行し、なかなか屋外への連れだしもままならなくなってきました。しかし、12月初めに今度新しくグループホームを立ち上げる予定の統括室長様が(他施設)見学を希望された為ご案内を致しました。20分程度の予定を遙かにオーバーして2時間近くお話をさせて頂きました。帰られてからすぐに御礼のメールが入りました。「明和の家からのすばらしいロケーションにも負けないスケールと温かみがあり、職員の方のにこやかな笑顔と、入居者様の穏やかな姿は、グループホームと言うより、『我が家』に寄らせて頂いたようで、ほっこりとした気分で帰る事ができました。私達も、明和の家のようなグループホームになるべく少しずつ準備をして行きます」とありました。特別な事をした訳でもなく、単なる見学と思っていただけにこのようなお誉めの言葉には驚くやら、嬉しいやらでした。この言葉を大切に、入居者と職員が明るく笑い合える関係作りを継続して行きたいです。せっきくのロケーションに負けないように、エレベーターがなくても、工夫をしながらケアに力を入れております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

市内の高台に位置し日当たりもよく、鹿児島のシンボルである桜島がホームからは一望できる。

母体である医療法人は他にも多くグループホーム等の福祉関連施設を持ち、内部や外部への研修で職員の質の向上に向けた勉強会にも積極的である。

ホームは地域との関わりも深く奉仕作業や地域の行事へ参加、また地域住民の災害避難訓練も協力的で役割を担う準備は出来ている。運営推進会議で出た地域の役員の意見で、不審者の侵入を防ぐために取り付けした門やセンサー設置は地域との関係が地域の一員として日常的に交流しているからである。母体が医療法人なので医療体制は整っており、利用者や家族は安心して過ごせている。

管理者や職員は利用者の思いや意向・日常の変化など、利用者や家族との対話や見守りから把握に努め、家族から意見や要望も得られている。その思いに寄り添い、可能なことはサービスに反映させている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設当初から、地域密着型を視野に入れて法人全体で理念を作成しており、理念を共有し実践できるように努めております	法人共通の理念とグループホーム独自の理念を毎年職員全員で年度始めに掲げ、年度末には反省見直しをし更なる質の向上に向けている。職員で共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に参加し、回覧板を通じて地域との交流を図り、気軽に言葉をかけていただいております	町内会に加入し、総会や清掃活動へも参加している。避難訓練の参加やボランティアの受入れもある。また駐車場を地域住民に提供するなど地域との良好な関係が築かれている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議で発信した情報を元に、地域代表の方や民生委員さんが、地域の方への助言を行っているとの意見を頂きました。地域の方からもホームへの問い合わせ等もあります		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、参加者全員が意見を出し合い、そこで出された意見は申し送りを通じて報告し情報共有に努めております	会議は家族代表・地域住民・行政の職員などが参加し現状報告やヒヤリッハット事例、行事報告のほか、活発な意見交換の場ともなっている。以前には町内会の防犯係の協力で防犯対策を設置するなど出された意見を活かす取り組みはできている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターには常に空き情報を発信し、地域包括支援センター主催の「地域ケア会議」を通じて地域の施設との交流会も図っております	市の担当者には運営推進会議に出席して頂いている。情報はメールや必要に応じて窓口へ出向き相談報告に対して助言・対応してもらうなどの連携を図りサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を毎月開催し、研修を重ねております。玄関の施錠は夜間のみ安全の為にっております。私たちの発する言葉一つでも拘束につながる事を念頭に置き、ケアに努めております	職員は定期的な身体拘束委員会での内部研修や外部での研修にも参加し、会議や申し送り時に振り返り、日々のケアの中でも意識して支援している。言葉に関しては言葉を変えての声掛けを常に意識している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待関連のニュース等があると本部から情報が発信されます。すぐに、申し送り時間を利用し周知徹底に努めております。研修への参加を促し、理解を深めていくようにしています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間の研修計画で、成年後見人制度について研修する事を義務化しております。研修案内があれば回覧し、参加するようにしております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	相談を受けたら、本人に見学に来て頂いたり、面談に伺う等して、本人の同意、家族間での意向のずれがないか等をしっかりと確認し、同意を得てから入居して頂くように努めています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設けております。面会時には必要な情報を伝え、県外のご家族様にはFAXや電話でこまめに連携を図り、ご意見をいただいております	利用者からは日々の関わりの中で意見を聞き、家族からは面会時や行事参加後に聞き出している。出された意見要望は職員で話し合い、運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフミーティングで出された意見は、管理者会議で報告したり、現在はipadで理事に即座に相談する事ができます	管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、スタッフ会議で職員の気づきや意見・提案を聞くようにしている。母体法人へ連絡相談し解決策を取っている。資格取得・スキルアップにも積極的に支援している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	処遇改善手当やサービス提供加算等が給与に反映され、やりがいを持てるように配慮されております。また、賞与も稼働率に応じた支給であり、向上心につながっていると思います		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者・計画作成者の介護支援専門員協会費を本部が負担し、積極的に研修に参加するように配慮されております。また、本部で研修がある場合もグループホームにも案内があり、自由に参加できます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	本部での研修に参加する事で、他のグループホームの職員との交流を図る機会にもなっております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメントでは特に生活歴を重視し、ご本人が入居後もできるだけ在宅と変わらない生活を送る事ができるように、安心できるように関係作りに努めております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	一番大切にしている事は、ご家族様との関係です。信頼関係の構築なしには支援を行う事は難しいと考えております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学时、他のサービスの紹介も行い、「今その時なのか」を考えていただき、また、他のサービスの紹介も行い、見学をして決めて頂くようにお伝えいたしております		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる動作能力を見極めつつ、負担のない範囲の家事活動を一緒にを行いながら、役割を持って生活していただくように努めております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の役割意識を持っていただく為に、ご家族の面会時に近況報告を行い、共に本人を支えていただくようお願いいたしております		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅との関わりが途切れないように、外出や外泊を支援し、気軽に面会に来ていただける雰囲気作りを務めております	友人・知人の来所時にはゆったりと過ごせるように支援している。電話や手紙の取次も行っている。美容室には家族が連れていくなど家族との協力体制も出来ている。利用者の馴染みの人や場との関係が途切れない支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々関係は変化しますが、孤立されている方もなく、双方で譲り合いながら、生活をされております		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	何よりも嬉しいのは、退去後もホームの紹介をしてくださる事です とても励みになります		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通が図れない時ありますが、本人の言動や表情から思いを汲み取り、本人本位のケアが出来るよう努めております	入所前の利用者の生活歴の情報や家族からの情報また日々の関わりの中で、利用者の希望を聞いたり表情やしぐさなどから思いや意向の把握に努めている。それでも困難な時には本人本位に思いを検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメントでは特に生活歴を重視し、ご本人が入居後もできるだけ在宅と変わらない生活を安心して送る事ができるように関係作りに努めております			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人生活パターンが違う為、食事やおやつ時の集う時以外、有する力量に合わせて活動にお誘いしたり、くつろぎの時間を過ごせるように努めております			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	朝夕の申し送りを通じて出された意見等を情報共有し、モニタリングし、現状に即したケア計画に向けて日々取り組んでおります	本人・家族の意向や医療機関等、関係者の意見もふまえた介護計画を作成している。ケアの経過は日課表や医療ノートに書き職員で情報を共有しケアプランに活かしている。家族や地域も共に支える支援を組み込んで個々に応じ、現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアに関わった職員は、日のリーダーへ報告・記録しておきます。それを元に介護記録へと転記したり、申し送り時に報告し、連続したケアが出来るようにし、プランの評価・見直し等に活かしております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その方の発する言葉の意味を常に掘り下げて考え、その時々で変わるニーズに対応し、柔軟に取り組むように努めております		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域からの往診・散髪・ボランティアの受け入れや、ご家族面会時にホールで一緒に歌ったり、お茶を飲んで頂いたり、会話して下さる方もあり、笑顔で過ごせるようにと考えております		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時本人・家族の希望があれば主治医はそのまま継続して頂きます。それ以外の方は定期的に受診介助を行い、安心して医療を受けられるように支援いたします	利用者や家族の希望するかかりつけ医となっているが、ほとんどが協力医療機関を主治医としている。他科受診は家族の協力支援となっている。適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の配置はないですが、母体病院の外来看護師と常に連携を図り、緊急受診ができる体制が確立されております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	支持母体の地域連携室と連携を図り、病院関係者との情報交換や相談がスムーズに行うことができる体制にあります		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化した場合における対応に関する指針」を作成し、ご家族に説明し、意向を確認し同意を頂いております。受診介助が不可能になれば、往診に切り替える等して、事業所でできる範囲を支援致しております	重度化や終末期に向けたホームの指針を作成しており入所時に家族に説明をしている。ホームで出来る最大限の支援を職員全員が共有している。家族の思いに寄り添い安心して最後が迎えられるよう、ホームはぎりぎりまでの支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員が外来受診の為の連絡表に必要最低限の記載を行い、医師に相談できる体制を整えております。普段と違う点はないか？等、いかに早く異常に気付く事ができるかと考えております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	安全対策委員会を毎月開催し研修致しております。避難訓練には地域の方にも参加して頂き、消防署からの指導を受けております	自主訓練と合わせ年2回の訓練を行っている。年1回は運営推進会議も兼ねて職員や地域住民の参加で避難訓練を行い、地域住民には見守りをお願いしている。地域との協力体制は築かれている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	羞恥心・プライドは最後まで残るという事を理解し、誇りを損なう事が無いようにと常に個々を尊重したケアを考えるように致しております	利用者の人格を尊重し、自尊心・誇りプライバシーを損なわない言葉かけや対応に努めている。職員は研修に参加し、スキルアップに向け取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定権は本人にあるという考えのもと、危険でない限り本人の意向が優先されるべきであると考えております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	夜勤帯の申し送りを聞いて日のリーダーが一日の計画を考えます。バイタルを測定しながら「今日は何がしたい？」など何気ない会話からヒントを得ております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴前日は更衣する衣類を一緒に準備をするのですが、入浴後は「これじゃない」と部屋に帰ってから更衣される事もあり、おしゃれに関心を持った生活をされております		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	交代で配膳の準備や盛り付け、野菜の下処理、包丁を使って刻む事が出来る方もあり、一緒に会話しながら家事活動に参加して頂いております	利用者には配膳や盛り付け、キャベツのせん切りなど出来る事は可能な限り手伝ってもらっている。毎年蕎麦作りと餅つきも楽しみの一つである。年1回の外食や家族の協力で外食等の楽しみに配慮した取り組みもある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下・咀嚼機能低下や嗜好の関係で摂取されない方には別メニューとバランス良く摂取できるように支援致しております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後 口腔ケアを欠かさないように、本人の状態に応じて付き添いや言葉をかけて、自分で行なっていただくように努めております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	アセスメントにより排泄機能の評価やモニタリングを行い、パターンやできる動作能力を見極めて、本人の意向に添ったケアを目標としております	排泄チェック表の活用や様子観察で利用者に合わせた声掛けを行い、不安や羞恥心に配慮しながらトイレ誘導するなど、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便サイクルを毎日確認し、できるだけ内服に依存する事がなく、食事や運動での解消予防に努め、快便を目指しております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の可否は本人が決定され、なかなか入浴されない方から、バイタル的に中止した方がと、思ってもなかなか合意を得る事が難しい場合もあり、個々に応じて対応致しております	基本的には週3回の入浴であるが、利用者の体調や希望に添った入浴が出来るように対応している。入浴剤を使うなど個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠りにつく時間はそれぞれ違うので、ホールでテレビを見たり、部屋で見たりと個々のパターンで寝たり起きたりを繰り返されます		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服については医療カルテできちんと確認できるようにしてあります。また、受診後の内服変更については、必ず受診介助者が記録に残し、回覧を義務化しております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日他者と、新聞や雑誌の記事・テレビの話題等を話題にして笑顔を交わされる姿も多くあります。力量に合わせて役割分担を行っております		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	自分で外に出たいときに出て散歩をされる方、家族と共に外出・外泊をされます。毎日というわけにはいきませんが、定期的に外食の機会を設ける等行事を工夫致しております	利用者の体調や天候に配慮しながら、本人の希望に添って日常的に散歩や買い物・ドライブに出かけている。家族の協力で一時帰宅や外出など可能な限り多くの支援を行い、外出が楽しみとなるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人管理のできる方については特に制限は致しません。初詣には「お賽銭を持って行かないと・・・」と心配される光景が今年も見られ嬉しく思いました。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯電話で自由に自分の思いを伝えたり、固定電話からかけたり、子機を居室に持っていくと喜んで会話される等、自由なやり取りをされております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間につきましては、広いホールに朝陽が差し込みますので、手を合わせておられます。桜島をホールから眺めながらおいしくお茶を頂ける静かな住宅環境を大事に致しております	利用者の手作り作品や行事の写真などが壁には飾られている。高台に位置しているので毎日、明るく広いホールからは桜島が一望でき、利用者の心を和ませている。大きな丸テーブルとソファまた畳敷もあり、利用者が個々に居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール自席以外にもソファを数か所置いてあり、自由に行き来できるように工夫をしております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	契約時にできるだけ本人の馴染みの物を持参し、自宅に近い環境を家族と本人で考えていただき、居心地の良い部屋の配置をお願いしております	利用者が使い慣れた馴染みの家具を置いたり、また家族の写真などを貼っている。安心・安全に過ごせる居室作りを工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差のない広いフロア、車椅子でも自由に出入りできるトイレ、広すぎる浴室で自分ペースで入浴を行う事ができるように本人ペースを見守っております		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない